

2018年11月の天候（山形県）

目 次

- 1 天候経過
- 2 日々の気圧配置
- 3 気候統計値（山形・酒田・新庄・米沢）
- 4 気象経過図（山形・酒田・新庄・鶴岡・長井・米沢）
- 5 県内の気象分布図
- 6 極値・順位値更新表
- 7 その他

山形地方気象台

本資料に関する問い合わせ先

山形地方気象台

T E L 023-622-0632

F A X 023-633-0620

[注意事項]

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、山形は気象官署、酒田、新庄は特別地域気象観測所、鶴岡・長井・米沢は地域気象観測所の観測値を使用しております。

なお、本資料の著作権は山形地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「山形地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

1 天候経過

【11月の特徴】

○少雨 ○多照 ○高温

この期間、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われ晴れる日が多く、金山など県内8地点で11月として月降水量の少ない方から第1位を、差首鍋など県内6地点で11月として月間日照時間の多い方から第1位を更新した。また、9日には酒田と浜中で11月として日最低気温の高いほうから第1位を更新した。

月平均気温は高いからかなり高い。月降水量はかなり少ないから少ない。月間日照時間はかなり多いから多い。

上旬

期間のはじめと終わりは気圧の谷や前線の影響により雨となり、1日は置賜で大雨となったところがあったが、期間の中頃は晴れや曇りで経過した。

旬平均気温は高い。旬降水量は少ないからかなり少ない。旬間日照時間は平年並から少ない。

中旬

この期間、高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。17日は寒冷前線の通過により、庄内で大雨となった所があった。

旬平均気温は高いから平年並。旬降水量は庄内で少ないほかはかなり少ない。旬間日照時間は庄内で平年並の所があるほかはかなり多いから多い。

下旬

この期間、天気は周期的に変化した。21日から23日かけて、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で置賜や庄内、最上で大雨となった所があった。また、山形では23日に初雪を観測した（平年より5日遅く、昨年より7日遅い）。

旬平均気温は平年並から高い。旬降水量は平年並から少ない。旬間日照時間は置賜でかなり多いほかは多いから平年並。

2 日々の気圧配置

- 1日：上空に寒気を伴った気圧の谷が東北地方を通過する。
- 2日：日本海は気圧の谷となる。
- 3日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 4日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 5日：東北地方は気圧の谷となる。
- 6日：引き続き東北地方は気圧の谷となる。
- 7日：北日本は高気圧に覆われる。
- 8日：引き続き北日本は高気圧に覆われる。
- 9日：中国東北区にある低気圧からのびる温暖前線が東北地方を通過する。
- 10日：中国東北区にある低気圧からのびる寒冷前線が東北地方を通過する。
- 11日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 12日：北日本は気圧の谷となる。
- 13日：高気圧が中国東北区にあって北日本に張り出す。
- 14日：高気圧が中国東北区と黄海にあって本州付近に張り出す。一方、上空に寒気を伴った気圧の谷が北日本を通過する。
- 15日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 16日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 17日：サハリン付近にある低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 18日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 19日：低気圧が東北地方を通過する。
- 20日：日本海は気圧の谷となる。
- 21日：東北地方は気圧の谷となる。
- 22日：上空に寒気を伴った気圧の谷が北日本を通過する。
- 23日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 24日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 25日：低気圧が日本海中部にあって北東へ進む。
- 26日：本州付近は高気圧に覆われる。
- 27日：引き続き本州付近は高気圧に覆われる。
- 28日：オホーツク海にある低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 29日：北日本は冬型の気圧配置となる。
- 30日：引き続き北日本は冬型の気圧配置となる。

3 気候統計値（2018年11月）

○ 気象官署

		平均気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(h)			
		本年	平年	平年差	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分
山形	上旬	11.4	9.5	+1.9	高い	6.0	24.8	24	少ない	32.8	39.2	84	少ない
	中旬	8.7	7.3	+1.4	高い	1.5	29.1	5	かなり少ない	51.6	28.7	180	かなり多い
	下旬	6.4	5.4	+1.0	高い	12.0	30.6	39	少ない	37.1	31.4	118	多い
	月	8.8	7.4	+1.4	かなり高い	19.5	84.5	23	かなり少ない	121.5	99.2	122	かなり多い

○ 特別地域気象観測所

		平均気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(h)			
		本年	平年	平年差	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分
酒田	上旬	13.0	11.4	+1.6	高い	39.0	70.5	55	少ない	37.9	36.8	103	平年並
	中旬	10.3	9.1	+1.2	高い	48.0	81.4	59	少ない	35.5	23.8	149	多い
	下旬	8.2	7.4	+0.8	平年並	63.5	73.1	87	平年並	34.6	21.5	161	かなり多い
	月	10.5	9.3	+1.2	高い	150.5	225.0	67	少ない	108.0	81.9	132	かなり多い
新庄	上旬	10.6	8.6	+2.0	高い	19.5	56.7	34	かなり少ない	29.1	27.3	107	平年並
	中旬	7.1	6.3	+0.8	高い	20.0	67.9	29	かなり少ない	39.5	17.5	226	かなり多い
	下旬	4.7	4.5	+0.2	平年並	68.0	66.2	103	平年並	16.6	17.6	94	平年並
	月	7.4	6.4	+1.0	高い	107.5	188.7	57	かなり少ない	85.2	62.3	137	かなり多い

○ 地域気象観測所

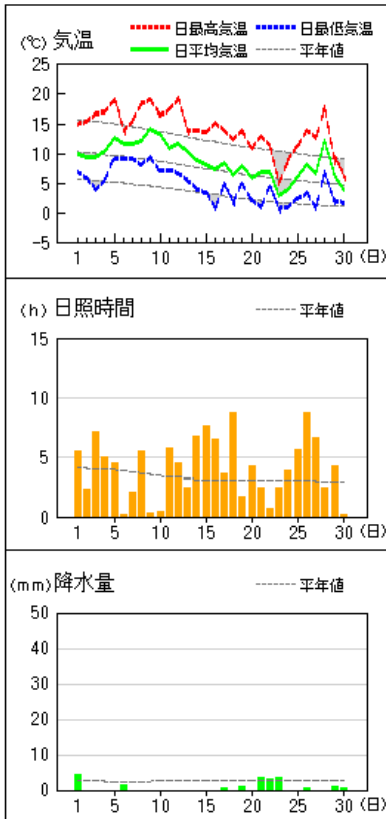
		平均気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(h)			
		本年	平年	平年差	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分	本年	平年	平年比	階級区分
米沢	上旬	11.0	9.0	+2.0	高い	8.5	33.1	26	少ない	30.5	38.0	80	少ない
	中旬	7.9	6.8	+1.1	高い	3.0	37.5	8	かなり少ない	43.8	27.4	160	かなり多い
	下旬	5.4	4.7	+0.7	高い	23.5	40.1	59	少ない	39.0	27.4	142	かなり多い
	月	8.1	6.8	+1.3	高い	35.0	111.6	31	かなり少ない	113.3	92.7	122	かなり多い

注) 次の表示の場合 X:欠測) : 準正常値] : 資料不足値 - : 現象なし。平年値は1981~2010年の平均値。

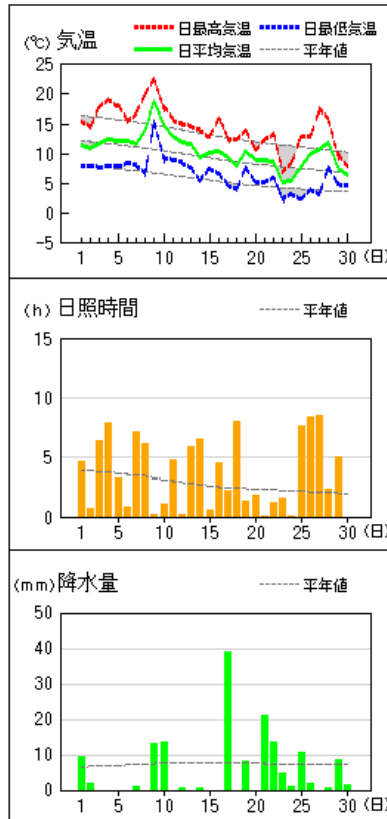
4 経過図 (2018年11月)

アメダス 気象経過図：2018年11月01日-2018年11月30日

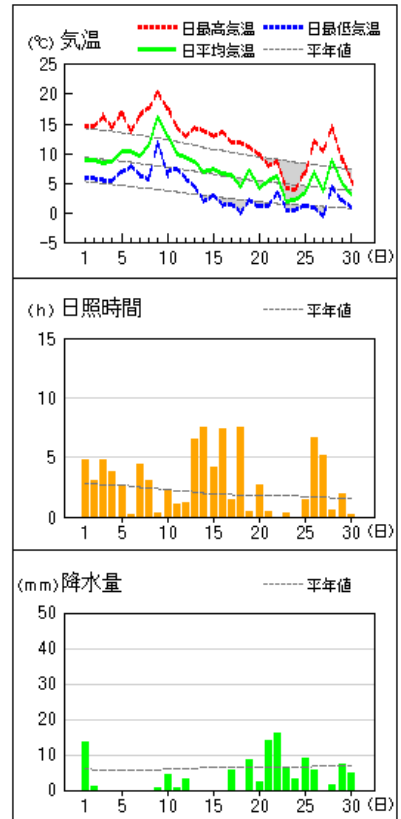
山形



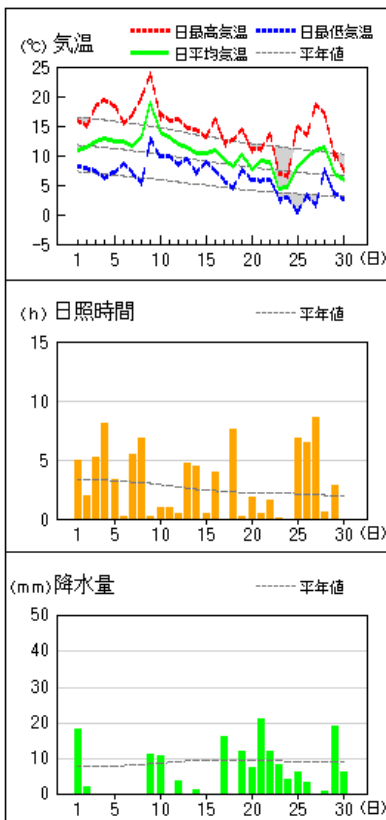
酒田



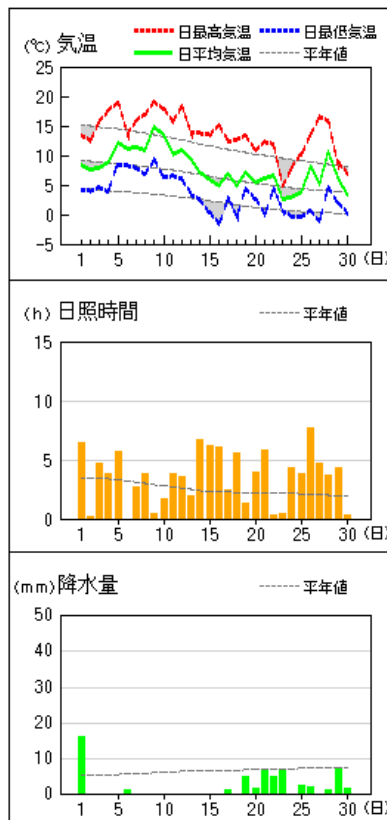
新庄



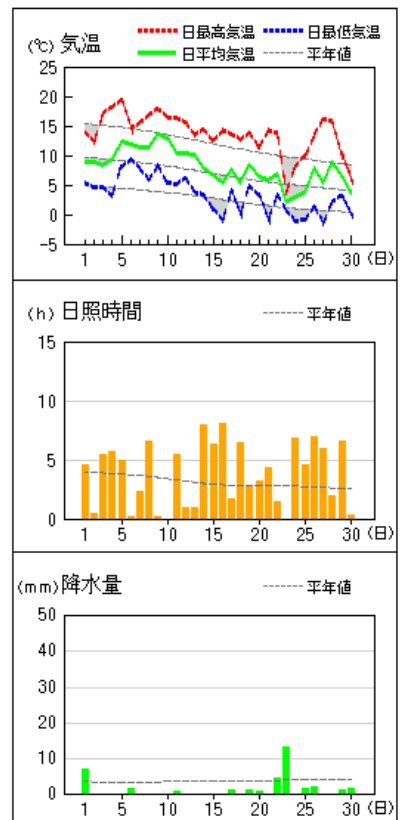
鶴岡



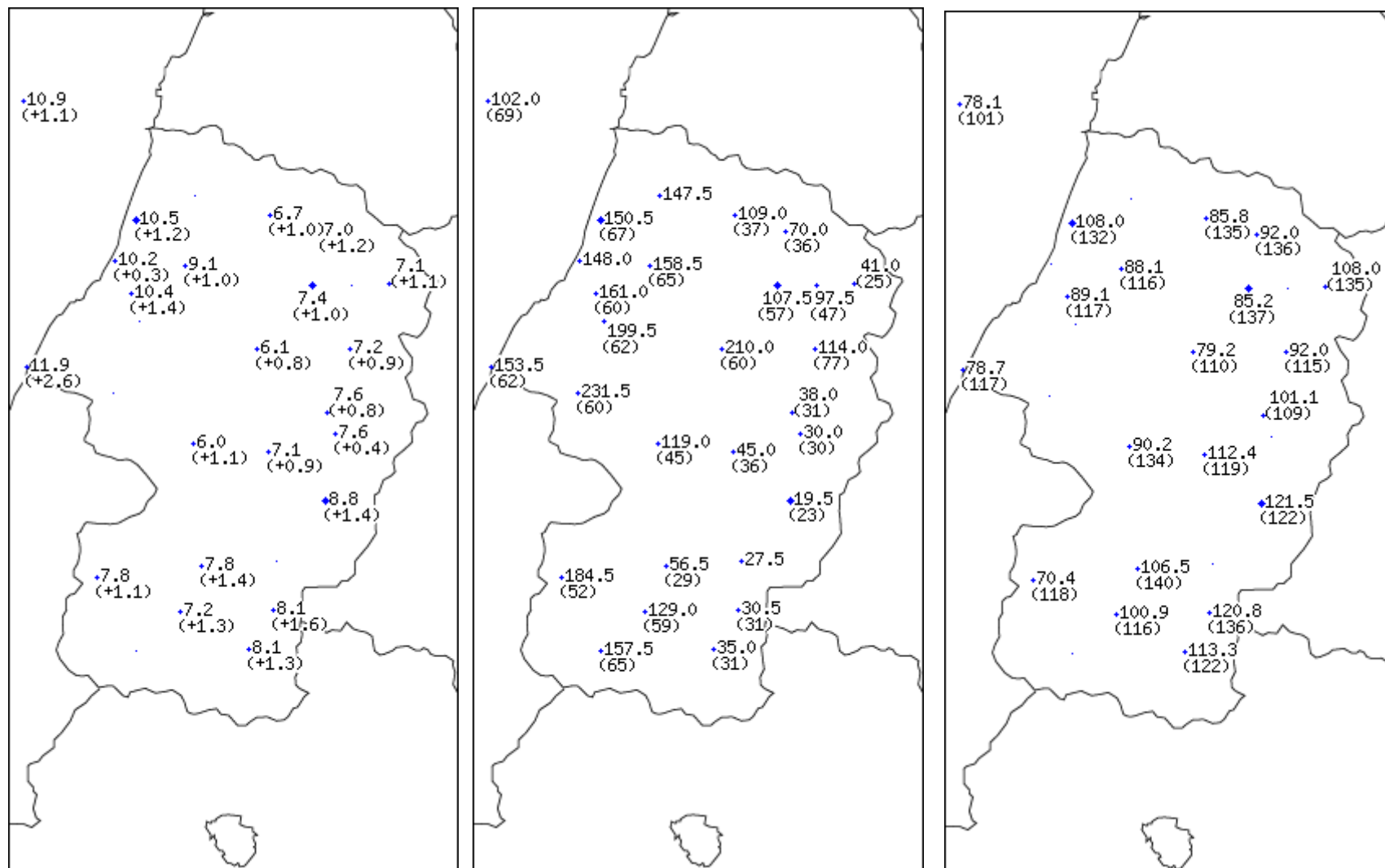
長井



米沢



5 気象分布図 (2018年11月)



平均気温(°C)

降水量(mm)

日照時間(hour)

)は準正常値、]は資料不足値を示す。
 平均気温の()内は平年差(°C)、降水量の()内は平年比(%)、日照時間の()内は平年比(%を示す。
 平年値は1981-2010年の統計による。

6 極値・順位値更新表 (2018年11月)

気象官署及び特別地域気象観測所：11月として第3位まで記載

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	起日	従来の 第1位	観測年月日	統計開始
月降水量の少ない方から (mm)	山形	19.5	2	11月	13.0	1994年11月	1989年
	新庄	107.5	3	11月	64.5	1994年11月	1957年
日最低気温の高い方から (℃)	酒田	15.4 ^{※1}	1	9日	15.4	1977年11月1日	1937年
月間日照時間の多い方から (時間)	新庄	85.2	3	11月	91.7	1957年11月	1957年

地域気象観測所（山形、新庄、酒田除く）：11月として第1位のみ記載（統計期間10年以上を記載）

要素名 (単位)	地点名	観測値	順位	起日	従来の 第1位	観測年月日	統計開始
月降水量の少ない方から (mm)	金山	70.0	1	11月	77	1994年11月	1976年
	向町	41.0 ^{※1}	1	11月	41	1994年11月	1976年
	村山	38.0	1	11月	51.5	2016年11月	2002年
	東根	30.0	1	11月	44.0	2016年11月	2003年
	長井	56.5	1	11月	59	1994年11月	1976年
	上山中山	27.5 ^{※2}	1	11月	56.0	2016年11月	2006年
	高畠	30.5	1	11月	34	1994年11月	1977年
	米沢	35.0	1	11月	53	1984年11月	1976年
日最低気温の高い方から (℃)	浜中	13.9 ^{※1}	1	9日	13.9	2011年11月6日	2003年
月間日照時間の多い方から (時間)	差首鍋	85.8 ^{※1}	1	11月	85.8	2003年11月	1987年
	金山	92.0	1	11月	90.8	2003年11月	1986年
	向町	108.0	1	11月	99.9	2001年11月	1987年
	大井沢	90.2	1	11月	83.2	2008年11月	1987年
	長井	106.5	1	11月	100.0	2007年11月	1987年
	高畠	120.8	1	11月	115.2	1999年11月	1986年

※1：同じ値（タイ記録）の場合は起日の新しい方を上位とする

※2：年を通して第1位を更新

7 その他

○生物季節観測

全国の気象官署で統一した基準により「うめ」・「さくら」の開花した日、「かえで」・「いちょう」が紅（黄）葉した日などの植物季節観測を行っています。

観測された結果は、季節の遅れ進みや、気候の違いなど総合的な気象状況の推移を把握するのに用いられるほか、新聞やテレビなどにより生活情報のひとつとして利用されています。

植物季節観測（11月観測分）

種目	現象	平年	2018年	平年との差	2017年	昨年との差	場所
いちょう	黄葉	11月4日	11月14日	10日遅い	11月7日	7日遅い	熊野神社※1
いちょう	落葉	11月17日	11月21日	4日遅い	11月16日	5日遅い	熊野神社※1

※1：山形市六日町

○季節現象観測

寒候年※2で初めて現象を観測した日、たとえば初めての霜を観測した日には、「初霜」として発表しています。（気象台構内で霜、雪、結氷を観測した日をそれぞれ初霜、初雪、初氷として発表します）。

霜、結氷、雪（11月観測分）

現象	平年	2019寒候年	平年との差	2018寒候年	昨年との差
初霜	10月30日	11月4日	5日遅い	11月6日	2日早い
初氷	11月1日	11月16日	15日遅い	11月6日	10日遅い
初雪	11月18日	11月23日	5日遅い	11月16日	7日遅い

※2：寒候年の統計は前年8月から当年7月までの1年間について行います。これは降雪の深さや積雪の深さなど主に冬季に観測する要素については、年をまたいで統計を行う必要があるためです。例えば、今季を含む2018年8月から2019年7月までの1年間を2019寒候年といいます。